# 京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲一ヶ月[illegible]●三ヶ月前金[illegible] ▲郵稅一ヶ月金拾參錢(?)
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 一月十三日
發行編輯兼印刷人 山下[illegible]
京城西署小門洞
發行所 京城新報社 電話六六三番

## 新疆旅行記(續)

「[illegible]ナッス」より位置に至る官道に出沒する大馬賊團の襲撃に備へんが爲め、兵卒を容るゝと共に陣屋あり、吾等が先日通過せし陣屋の如きも空虛なりしが、此處の陣屋には少數の兵卒あり、一旅舍に一陣屋、これに二三の農家、是れ實に「シフオ」と伊犂間にて遇ふ所のすべてなり、土地は良好にして水流に富めども、草產の茂るに任かせたり、土地の人民は尙此方を戈壁砂漠の一部と見做し、廣漠たる土地は少しも鍬を入れられずして橫はるなり、困難又は煩勞の意味なる「ラウタウ」なる語は、旅行者及馭者によりて絕へず口にせらるゝを聞く、人の食物及馬の飼料は此等の小なる場所にては、支那本部の二倍の價格を有する人口多き地方よりも、更に又二倍程の高値なり、是れ實に炎天、馬蠅、蚊及其他の厭ふべき昆蟲と相俟つて、此語の斯く屢々使用せらるゝ所以を說明することを得べし。

八月九日「ツルテオ」傍にて余の小車は「マナッス」より「シフオ」迄余の貊を運搬せし三臺の大荷車に追及せり、彼は余の二日以前に「シフオ」を發せしが、途中沼地に陷りしなり、吾等は日沒頃に「ツルテオ」を發し余の車は二時間先きに出立し、余は乘手なき驢と共に馬上にて其後を追へり、余は「マナッス」にて余の驢と之に積みし品物とを盜去らんとせる男を捕へたるが、今この男を逐遣らざるべからざりき、事實上外國人及支那人に傭はれて其用を辨せんとするものは、支那の追放人にして、阿片を吸ひ賭博をなすを習慣とするものなり、一見此地の移住民は不注意にも其慾情に任かせつゝあるが如し、余は土地の男子の住民が悉く公道に群座し、朝より夕に至る迄、無遠慮にも博奕をなして萬事を忘却するを目たり、此近傍には日沒後絕へて馬蠅を見ずと雖も、蚊の多きは南滿に於けるが如し、夜に入りて旅行せしが、時々電光のある每に余の正路にあることを知り得て都合好かりき、この大道には伊犂及露西亞迄の電信局あり、月昇るに及んで、余は濕地の森を出でゝ乾燥の沙地に入りたるを見たり、五十里を旅行せし後、余は沙丘上に建てる人の住める淋しき陣屋に達し門を敲きしに一兵士出來りしかば、余は水を請ひしに其中に五人の兵士ありしが、夜半過ぎなりしにも拘らず、余の爲めに茶を煎じくれたり、茶によりて元氣恢復し、日出まで旅行を續け此地の陣屋の傍なる政府の旅舍に宿れり、此地には他に一軒の家屋もなし、此等の官立の旅舍は、三つ以上の室間の外に「上房」を有し、常に白紙を以て小綺麗に張り詰め處々に卷紙と赤紙とを以て裝飾せり。

## 大連市建設事情(四)

黑鳩

將軍の辨駁
(ウイッテ伯とクロパトキン將軍の爭論)

我等が清國政府より關東半島の一地區を租借利用するの權を獲得したる目的は是れ主として極東に對する露國の爲めに不凍海に於ける出口を安全ならしむるが爲めなり斯の如き出口の必要なる事は日本國が太平洋沿岸に於てまだ强國の班に入らざる久しき以前に露國政治家に依りて主張せられし所なり大藏大臣の報告にも關東半島の占領と共に世界最大鐵道の終點即ち不凍なる黃海の沿岸に一等商港を建設する豐富なる思想現はれたり」と記せられたり

此の不凍港に各國の船舶を自由に碇泊せしめ之を開港場と爲さん事を豫定せられたり我が太平洋艦隊の錨地とし豫定せられたる旅順は素より此海港としての條件に適ふ者に非ざるや勿論なり旅順の尙ほ清國の權內に在りし際同港は清國の軍港と要塞にして旅順に近接せる商港は營口なりき陸軍省には我が艦隊の根據地と爲れる旅順を陸上より防禦する責任を與へられ海軍には此の地點を海上より防禦するの任を託せられたり旅順港內の設備は不充分にて且つ狹隘なりき港內錨地には僅に數艘の船舶を碇泊せしめ得るに過ぎす內部の一小池(灣)は滿潮の時にジャンク船の出入に便なるに過ぎす旅順は港として啻に諸外國の爲に不充分なるのみならず我が太平洋艦隊の爲めにさへも全く不充分なりき旅順に碇留せんとする我が軍艦は始終外海の錨地に碇泊せざるを得ざりき左れば一千九百四年に港內錨地に大工事を爲したる後にさへも我が艦隊の一部は港外に碇泊せざるを得ざりしを以て日本は之を利用して宣戰を爲さゞる前に我が軍艦に夜襲を加へ是に依りて若干の我が優勢なる軍艦をして久しく戰鬪力を失はしめたり

旅順の周圍の地は港灣並に市街に比較的接近せる防禦線を爲せり此の一線に清國人は既に可なりに堅固なる防禦工事並に城壁を築造せり我等も亦此の一線に我が保壘を築造せり此の保壘と海洋との間の地區範圍は我が陸海軍省の軍事要求を充すと共に貿易上の目的の為めに充分の地區を割くには甚だ不充分なりき大藏大臣の意見に應じて「萬國貿易の繁盛なる中心點」を開設するの必要ありとせられしかば是が爲めに左の件を要求せられたり「我が租借區內に國家的なる秩序と貿易上に文化の秩序を成立せしめんが爲めには其の秩序が極東の最も善美に開設せられたる中心に生活する者の慣習に應ぜしめ決して貿易上の活動を抑壓するが如き事なく外國民並に露國民の移住と居住を成る可く制限せざらん事を期せざる可からず」と

## ステッセル裁判(六)

有史以來の大審問▲露國陸軍の內幕▲日露戰爭最後の悲劇▲旅順要塞開城事件

▲ニキーチン中將の證言

中將はステッセル、フォーク兩將の辯護人として、頗る感動を與ふる高聲を以て其の辯護演說を試みたれど、言偶要塞砲兵の事に及びし時、彼れの辯護は却て譴責の調に移れり曰く、

「本證人が戰鬪後タフワテロフ中佐に出會せし時、本證人は彼れに告げて言へり。何故に貴下は士氣を鼓舞すべく自ら陣地に在らざりしや。苟くも吾人砲兵隊に任ずる者は須らく堅固なる忍耐を以て已れの砲下に死せざる可からずと。然るに彼れの答は如何なりしや。曰、予は通路を斷絕せられしが爲に陣地に到る能はざりきと。タハテロフの居りし所には彈藥も在りたり……タハテロフは何處に居りしや」。

と述べ去り述べ來りてニキーチン中將は終りに尙己れの託訴者に有利の證言を爲さんとして、フォーク將軍の辯護人に向ひ、本證人の陳述は貴下の意に適せりやと問しも答へ無かりしかば中將も其の儘默したり。

▲參謀大佐デミトリフスキイの證言

大佐はフォーク師團の參謀長たりし人なり

判士ムイロウ將軍、彼に問うて曰く、

判士「其の方は戰鬪に於て何等かの特別任務を有せしや」。

大佐「否、本證人は朝四時金州に砲聲の起るを聞きて彼處へ赴きたり」。

判士「許可なくして赴きしや」。

大佐「許可なくして」。

次に判士サランチエフ將軍代りてデミートリフスキイ大佐を審問せり。

判士「軍令は五月十三日(二十六日)に與へられしや」。

大佐「知らず」。

判士は疑惑に堪へざるが如く一段激しく、

「されど其の方はフォーク將軍の參謀長には非ざりしか」と叫びたり。

フォーク將軍に最も親近せりと思はれたる人物の證言は以上の對話に依りて最も能く其の眞相を穿てり。

▲參謀中佐オディインツォフの證言

此の證人の證言はフォーク將軍に取りて頗る不利なりき。則ち證人は、第十五聯隊の陣地選拔の爲シイ灣に於けるフォーク將軍の旅行が何等の目的なかりし事を述べ、且曰く、

「本證人はフォーク將軍に提供するに、適時第五聯隊に代らしめんが爲に第十五聯隊を陣地に送るべきことを以てしたり。其の結果聯隊は送られしも交代は無かりき」。

フォーク將軍は右の證言に對する說明に於て、オディンツオフは彼れに提供したるに非ずして命令したりと言ひ且曰く、

「被告は此事を許可する能はざりき。被告の性格は能く人の知る處ならん……」

▲參謀中佐グールコの證言

此の證人の證言は極めて簡單なりき。曰く、

「フォーク將軍は本證人に請ふに、戰鬪以前衛戍司令官スミルノフ將軍に會して金州の防禦は、苟も常識あるものゝ爲さゞる事及び防禦の中心を狼山に移す事の二件を彼に說得することを以てしたり。然れどもスミルノフ將軍は之に一致せざりき。唯だステッセル將軍は本證人に告ぐるに一箇月間程金州を支持すべきことを以てしたり」。

是に由りて之を見れば、ステッセル、フォーク兩將は其の根抵より意見を異にするものなり。斯かる意見の相違にも拘らず、ステッセル將軍は能く金州の防禦をフォーク將軍に委任し得たりや否や。恐らく問題の根抵は此處に存せん。

## 窯業品需給に對する調査(一)

茲に謂ふ窯業品とは陶器、磁器、素燒器(土燒)琺瑯燒器(瀬戶引)、板硝子、玻璃器、洋燈(ランプ)洋燈籠(ホヤ)、土管、煉瓦、瓦、セメント、石灰、牡蠣灰を云ふ

今各品に就き當港の需給關係を調査するに凡そ左の如し

第一 陶器、磁器、素燒器(土燒)

當港に輸入せらるゝ陶磁器類は日本に於ける殆んど總ての產地より出つるものにして一々列擧するに遑あらずと雖も市內陶器商に於て販賣せらるゝ重もなる種類を擧ぐるときは槪ね左の如し

(甲)日本人向

(一)肥前有田燒(磁器) 重もなる品種は錦地類各種及び日韓人向皿、鉢、丼、茶器其他總て韓人向を除くの外は總て日本人に最も多く賣行を有す

(二)岐阜多治見燒(陶磁器) 重もなる品種は皿、茶碗、急須、煎茶茶碗、茶器類にして肥前物に次て賣行多し

(三)尾張瀬戶燒(陶磁器) 其賣行は多治見に亞き賣行相應に行はる品種も亦同樣なり

(四)石見燒(陶器) 重もなる品種は甕、摺土(ハント)類にして需用途に汎く將來本邦人の增加に連れ陶器類中最も好望のものなり寒中は賣行なしと雖ども冬季は賣行好し

(五)伊勢萬古燒(陶器) 重もなる品種は土瓶、茶器類にして賣行惡しからず

(六)淡路淡島燒(陶器に屬するもの) 重もなる品種は丼類茶器、花瓶にして賣行弗々之れあり

(七)京都清水燒(磁器) 重もなる品種は茶器、茶碗類の上等もの賣行弗々あり

## 一月中京城商況(下)

▲煙草 賣行良好にして中にも「ゴールドバット」「ハチピー」に至りては韓人向として最も好況を呈せり値段は前月に比し大差なし

▲麥粉 は舊正月前に當り淸韓人の需要增加の爲め賣行最も良好なり亦た相場に於ては變動なし

▲麥酒 は一ヶ年中に於ける麥酒界の最も沈靜なる時期なるも前月に比し割合に入荷も多く從て可なりの賣行にして値段も箱に付二三十錢內外の高價を示せり

▲洋酒 年始の贈答用として比較的昨年末よりも好景氣を示しつゝあり亦た十年ウヰスキーに至りては昨年末よりも箱に付一圓內外の下落を呈せり

▲罐詰類 例年極寒の候は需用減少の結果筍、松茸等、野菜類の外は凡て沈靜にして相場も變動なし亦た野菜罐詰は產地品拂底のため入荷少し

▲和、洋紙 原料高價なるに不拘新、舊二回の年末に際したる爲め一般の需用非常に多く內地製產高其需用を充たすに足らざるため意外の値上を見るに至れり

▲味噌 賣行良好何れも値段に變動なし

▲醬油 賣行良好にして何れも値段に變動なきも龍印小樽最も賣行宜ろし

▲金物類 目下寒氣の爲め建築工事の休止と共に一般賣行を減し目下沈靜の狀態なり

▲材木類 は各店共昨年の殘品のみにて品少し亦た寒氣の爲め諸建築工事も一時中止の姿にて賣行少し

▲ペイント類 目下凍寒の期に際し需要僅少にして沈靜の狀態にあり値段に於ては前月に比し變動なし

▲木炭、薪 は時候柄賣行尤も良好なり目下結氷期に際し殊に本年地方暴徒の爲め韓人側の出廻り少なく加ふるに人口の增加に連れ需用劇增し爲めに目下兩品共盛に內地より輸入を仰ぎつゝありて値段の如きは昨年に比し二割方高價を呈せり

## 文苑

佳羅丹之殘 玉井南軒

●秋山岡山煙草製造所長の大阪收納所長に榮轉されたるを書く

ふるとよりわけて登れば梅が香も一入高き必増こそすれ

●大阪を去りて東京に遊ぶ友を送る

梅薫る浪花に君やすみあきてすみだの花をしたひ行くらん

## 小說 紋のみだれ(七十二)

永井櫻園

「だつて、他の下宿に移つて、間もなく又家を持つなんて、那樣騷動するはどなら可厭でも全快するまで、此家に居た方が宜いと思ふのだ。」

と、山田は濟之助の心を計りかねて、其顏色を伺ふのである。

「私の思案へてるのは、斯うなんですよ。全快してからなんと云へば、斯麼酷い家にまだ長く居なきやアならないから、どうせ家は借りなすつた方が何彼につけて便利ですから、借りた方が宜いと思ひますけれども、只心配するのは、道具一つでも私が買ひに行かなきやア、貴方の其の體で買ひには行けませす、設令那樣物は買整へたとしても、其日から下女を頼まなきや、看病して下れる人も無いでせう……私は毎日ちよい〳〵往くには往きますけれども、養父さんへ今の內は內々ですから、往きしりに往く譯にはならないでせう、だもんですから、奈何か宜い方法は無いかと思つて考へてるんですの……家を持つのなら、寧そ先刻のれ松ざんを當分頼めば宜うございますね。」

「れ松を頼むのは易い事だが、然うなると、なか〳〵金子が要るが、それに因るのだ全快してからだと、又方法も講じて見るけれどね。」

と、屈托顏をする。

「家を借りて世帯道具を調へるに何の位要るでせう。」

「然うさね、家にも依るけれど、少くも五六十無けりやア、いくら小い家でも持てないだらうよ。」

「那樣事で持てるでせうか。」

「家が十圓の家賃と見ても、二ケ月分位敷金に取るだらう、すると先づこれが二十圓要るだらう、夜具や机のやうな物は自分だけのは持つてるから宜いとしても、臺所道具から食事の道具、彼や此やに三か四十あれば、些いとした道具は調ふだらう、すると五六十圓ありや持てない事はないさ。」

「その位で世帯が持てるなら、直に持つ事に致しませうや、お金子は私が都合致しますから、そしてれ松ざんを當分頼むで來て貰ひませう、ね、それにお極めなさい。」

「だけれども、た前に那樣金子の心配をさしては濟まないからね。」

「まだ那樣事仰やる。妻が良人のために心配するのは當然じやありませんか、心配なくても宜ござんすよ。」

「だつて可愛相だからね、どうか借りる算段があるのか。」

「那樣に御心配なさるなら話して聞かせますがね、實は私この一日から看板を揭げる事になりまして、宮松亭へ揭げたんですよ、處が披露の配物だの印袢天だの、種々揃へなきやアならない物があるでせう、那樣物を揃へるに養父さんの手前は百五十圓外から借だと云つて、溜めて置たので揃へて、其實これまでれ客から貰つた金子を、配物の返しに方々から頂いた祝儀が彼是二百圓あまりありましたから、其中で百五十圓だけ私が借た先へ返すと云つて納つて置たのがあるんですよですから心配なさらなくても宜いと云ふのです、かう見ゑてもなか〳〵節儉家でせう。」

「イヤ實にれ前には感心した、然ふ云ふ金子があるのなら、氣の毒だけれど暫く借りて、早速家を持つ事に爲やう。」

京城新報

# 大空權屋無し

漢城は今尚ほ空權屋の世界也、空權屋を此地より除き去れば、實に落寞心細き事共ぞかし。只其れ小空權屋累々として市上に横はるのみにて一大空權を握りて企業の覇權を立つるもの無きを惜しむのみ。夫れコールブラン何者ぞや、彼は日本香港の間に往來せる一商人のみ。一旦水道電車電燈の特權を獲るや、數年ならずして富百萬を超へ、漢城政界に出入して勢力遙かに自國公使を凌ぎ、ロンドン市場に到りて二百萬圓のシンジケートを組織し更らに其權利を擴張し、事業を膨脹しつゝあり。之に對して昵然として爭ふ能はず、漠然として對抗するの勇氣無く、僅かに言論十が一抹の氣焔を吐いて警呼するのみ、碌々たる小空權屋、必竟何の功蹟かある。然りと雖も大空權者の出でざるも亦た理由無きに非ず、小利を得れば嫉視矢の如く、小功を立つれば惡聲地に湧く、天下の富を閉さして野心の放手を許さず、天然の大利を鎖さして山師の窺窬を怖る、其膽小にして氣宇豆の如く、眞に膨脹進運を荷へる國民の鋒鋩としては實に何事も御話しにならぬ小鋒鋩なり。會て人あり、一片の紙を以て韓國の利源を占有せんとせり、忽ちにして惡聲、嫉妬甚しきは空權を以て之を破壊しだることあり大空權屋世に無きにしもあらず、之を產出せしめざる也。

●●●●●●特權買收の失敗に就て

コルモンボスウキク組合が赤手を以て電鐵を開始するや、東京の企業者は自ら來りて其特權及事業を買收せんとせり、價稱して九十萬圓と唱ふ、企業者曰く二十五萬の價値あるのみ、天に唾いて去る。又一人の企業者來りて買はんと欲す。空權屋たるコールブラン氏喜んで應ず、價は百萬圓ならざる可らずと、企業者曰く八十萬位なれば買はんのみ、遂に舌を出て去ぬ。復た企業者來りて百二十萬圓なれば拍手せんのみと、コールブラン曰く二百四十萬圓なれば相應せんと、恰かも是れ自らコールブランの特權を大ならしめたるが如きのみ今更ら水道の水税如何、電車賃の高下如何を論ずる實に時機を失へる甚だしきのみ。吾人に一策あり韓帝室の一半權利は我企業者をして代理經營せしめ、宜しくロンドンシンヂケートと協同以て市の改善と市民の便利に供せしむるにあるのみ。

●●●●疏水と輕便鐵道

漢江より分水して漢城市を横ぎるの疏水工事を開始せよ、市民の一半は其水を飮み、水道税を拂はずして可なり、南大門より龍山に至るに於ては輕便式鐵道を布設せよ、必ずしも電車賃を論せずして可なり、是れ富鐵的官業に巨多の投資を爲すよりは妙計なりとす。

華盛頓電報

▲米國と大博覽會 米國上院は日本大博覽會出品に關する諸般事項協定の法案を可決せり(十二月東京經由)

紐育電報

▲米國の海軍擴張 米國下院の海軍委員會は戰闘艦二隻驅逐艦十隻潜水艇八隻の新造案を可決せり

▲米國の海軍豫算 米國の本年度海軍豫算額は約一億萬弗也

▲米海軍絶東根據地 米國陸軍卿はフヒリッピン群島を永久的海軍根據地と爲す件につき審査中なりしが是れを承認せり(以上十二日東京經由)

東京電報

▲韓太子隨員の歸國 韓國皇太子の隨行員嚴柱益鄭東植の兩氏は明日午後新橋發列車にて歸國の途に就く(十二日午後發)

各地電報

▲原澤斥候の攻撃 十二日午前十一時二十七分恒吉少將よりの電報に依れば徳永大尉に屬する原澤斥候は八日午後九時長城西三里にて賊七十を攻撃し其七を斃す(十二日大邱發)

▲暴徒巡査宿舍を襲ふ 惠山鎭警察分署管内三水巡査駐在所巡査宿舍に暴徒約百二十名襲來し宿舍主人を殺す巡査は無事(十二月午後咸興發)

雜報

●副統監德壽宮參内 曾禰副統監は太皇帝の御思召に依り本日午後二時國分秘書官を從へ參内謁見の筈なり

## 李允用の上奏

宮相李允用は日米開戰近きにありとの事を太皇帝に奏上したりと云ふ

●●●●三君昇格の説 完興君李載冕、完順君李載完、永宣君李畯鎔の三氏は今回親王に封せらるべしとの説あり

●●●●●●米國總領事統監府訪問 米國總領事サンモース氏は昨○時三十分統監府に小松外務總長代理を訪問せり

## 韓國中央銀行

韓國中央銀行設立の件に付目下上京中の荒井度支部次官が具体的案を携へ伊藤統監に稟議したる由は過日本紙の報導したるところなるが其後聞くところによれば伊藤統監には略荒井案に同意せられ大藏省側も略贊成するに至りたりと云ふ

## 東京に於ける騷動

如何なる理由か本件に關する電報本社に來らず(十三日ソウルプレス轉載)

去十一日午後二時社會主義者等は地税に反對する示威集會を日比谷公園に於て開催したり、五千人の匪徒集合したり、警官は匪徒に解散を命じたり、警官の命は匪徒に依て拒絶せられたり而して激昂したる暴民は遂に十六臺の電車を破壊したり、騷擾鎭定の爲軍隊は繰出されたり、今朝までに八十名拘引せられたり

## 並行線問題と兵力

上海にて發行せる獨字新聞東亞ロイドは並行線問題に關し説を爲して曰く新民屯を經て法庫門に至る鐵道延長計畫に對し日本政府は北京政府に抗議せり是より先北京政府は新民屯より法庫門を經て齊々哈爾に至る線路の敷設を英國の會社に許可し居りたる爲め英國各新聞特にロンドン、タイムス及び其北京に於ける代表者博士モリソン氏は日本の抗議は門戸開放の原則に反せるものなりと論じたるは人耳に新たなる所なるが之を事實上より見て北京政府は二個の相容れざる約束を爲せり即ち千九百五年の北京協約第一條はポーツマス平和條約第五條を確認せるものにて此條項によれば露國は旅順寛城子間の鐵道並に附帶せる一切の權利を日本に讓渡せり而して露國は東清鐵道に對する總ての競爭を避けんとの目的にて前世紀の終に於て清國をして東清線の並行線を敷設し若くは同線と競爭を爲し又は損害を與ふべき線路を敷設せしめざる事を約せしめ特に露國は自國の鐵道と新民屯牛莊間の清國鐵道と連絡せしむる事を禁せり日露の戰爭中露國は自ら新奉間の線路を連絡したるを日本は終に清國に賣渡したり新民屯奉天牛莊間の清國鐵道は距離短かきにより奉天大連旅順間の日本鐵道に取りては大なる競爭線なり此競爭は牛莊より新民屯を經て齊々哈爾に延長する場合には一層激甚となるべし加之日本の軍事上の地位は常に此新線敷設によりて其側面に於て襲はるゝ虞あり從つて日本の抗議は理由あるものと見做し得べく日本の新聞紙は非常に激昂してロンドン、タイムスの太だしき非難に對し防衞に勗む 案ずるに此問題は解け難き問題にして且つ起らざるべからざる問題なり、故に日本が滿洲に於ける露西亞の權利を享受せんとするに於ては既得の權利によつて清國の主權を制限せんとするなるべく清國も亦日本との契約の不備を覗ふて之を潜らん事を欲すべければ結局日本は其兵力によつて其權利を維持する事を覺悟せざるべからずと云々

●赤十字社總會 日本赤十字第六十六回總會は本年六月初旬を以て東京日比谷公園に於て擧行の豫定なる旨、此程本社より通牒ありたり

●漢城衛生會 昨日午前十一時より木内々務次官邸に於て第一回漢城衛生會を開催せし由

## 日韓吏僚の輯睦

邦人官吏任命後日韓人間の折合が如何なる可きや宮内府の如き由來政府各部と異りて府内特種の慣例と蟠屈の情實有れば兩者間の折合に就き多大の憂慮が拂はれつゝあるは掩ふべからざる事實なるも今日迄の待遇に徴するにそは寧ろ無意味なる杞憂に過ぎざるものゝ如く國籍の差異よりして動もすれば避く可らざる感情の阻格と遠慮とは些の徴す可き事實無く昨今兩者吏僚間は漸く相輯睦して執務時間後の餘暇に日韓語の交換的研究に餘念なく其の結果は事務取扱上に多大の便宜を與へ一月中の如き從前に比して類例なき進捗を看るに至れりと云ふ

●●●修理費下賜 太皇帝には過日京城孤兒院に對し龍洞宮の家屋を下賜されたるが今回又々同家屋の修理費として二百圓を下賜されたり

●砥平の暴徒 二月五日午後十一時三十分上北面余勿里長李鍵永よりの報告によれば六日上北面聚才洞(東北五里)に何ゆる暴徒七十名侵入し北面々長李鐘德及び上北面古論里長を拉去し尚ほ同洞に滯在中なりと依て當地守備隊長は下士以下二十四名を率ひ六日午前七時出發討伐に向ひたり

●●●●暴徒歸順報告 既報一月二十五日以降に於ける歸順數は左の如し

楊州郡五名、驪州郡十五名、砥平郡廿一名、陰竹郡一名、江華郡一名、竹山郡十五名、龍仁郡二名、廣州郡七名、利川郡三名 合計七十名

●●●大赦囚人 東署管内にて大赦令に依り免せられたる囚徒は十五名にして内七名は行衛不明にして捜索中一名は出獄後再び罪を犯し入獄せり二名は一定の職業なく又父の家に寄食せり五名は職業を有し生計を營めり又龍山署管内大赦令に依り放免せられたる囚徒は十二名にして内五名は放免後歸宅せず七名は專心稼業に從事し再犯の虞なしと云ふ

## 電車問題の交渉

昨日熊谷民長等韓美電氣會社のコールブランと電車賃金問題につき交渉の爲め會見の筈なりしが別項記載の漢城衛生會に熊谷民長出席につき本日に延期せりと

●●●●●●新義州の民團法施行 新義州には日本人會の組織あるも未だ居留民團法の施行を見ざりしが同地の日本人居留地は逐年發展し民團法施行の素地充分なるより愈々來る十五日より同法を實施され民役所及び民會を組織せらるゝ由にて猶ほ右につき同民役所にては新義州停車場構内敷地の貸下げを受け之を一般に貸付け民團財源の一部に供するよしに聞く

●●●●韓人種痘施行 二月七日臨時種痘施行せり(銅峴分署管内)、接種總員二百九十一人内

初種六十一人 男四十一人女二十人
再種以上十六人 男十一人女五人
再種百四十八 男百六八人女三十四人

痘瘡を經し者七十四人 男六十一人女十三人

二月六日
西署韓人倶樂部 百二十三人
銅峴分署東橋李禹善方 百十五人

●●●●空包發火演習 左記日附の所に於て空包發火演習を施行すべし

二月十四日(自午前九時至午後四時) 於往十里附近 第七中隊
同 日(同午前八時同午前十一時) 於德基里附近 第八中隊
同 日(同午前九時同午前十一時) 於龍山 第九中隊

●●●●●●宣諭委員の大持て 韓政府より派遣したる宣諭委員宋綺用(基督教信徒)は八日烏致院に下車し清州城に入りしに同地の人民五百餘名出迎へたり此日各戸國旗を掲げ敬意を表せりと宣諭委員は直ちに此等人民に向ひ宣諭文を奉讀したるに人民等大に感激し流涕して之を聽きて萬歳を呼びたり又此場に於て舊兵丁たりし李用成なる者歸順し尚は續々歸順者を出せりと九日は耶蘇教會堂に於て宣諭の詔旨に基き説教したるに教徒も大に心を開き一進會の如きも他派との私闘の非なることを悟れりと云々と同人より當地某氏に達したる書信に見へたり

## 外國貿易旬報

隆熙二年二月上旬 關税局調査

| 區分 | 本旬分 | 一月以降累計 |
|---|---|---|
| 輸出品價額 | 二七六、七六一 | 一、六九一、九七七 |
| 輸入品價額 | 六二四、四九二 | 三、二二六、一七六 |
| 合計 | 九〇一、二五三 | 四、九一八、一五三 |

右貿易額の港別左の如し

| 港名 | 本旬分 輸出額 | 輸入額 | 計 |
|---|---|---|---|
| 仁川 | 八六、四九六 | 二二四、五一〇 | 三一一、〇〇六 |
| 釜山 | 一〇五、二二八 | 一四二、一八一 | 二四七、四〇九 |
| 元山 | 二一、一四八 | 一二八、二一三 | 一四九、三六一 |
| 鎭南浦 | 一〇七 | 一三、五二〇 | 一三、六二七 |
| 京城 | 二一五 | 五四、五一六 | 五四、七三一 |
| 群山 | 三七、八九一 | 二一、五四五 | 五九、四三六 |
| 木浦 | 一九、二三三 | 一六、九五〇 | 三六、一八三 |
| 馬山浦 | 二六九 | 一〇、六五三 | 一〇、九二二 |
| 城津 | 八、〇二一 | 五、三二六 | 一三、三四七 |
| 新義州 | 八、二七四 | 七、〇七八 | 一五、三五二 |
| 計 | 二七六、七六一 | 六二四、四九二 | 九〇一、二五三 |

輸出重要品表

| 品名 | 本旬分 | 一月以降累計 |
|---|---|---|
| 米 | 二三八、三二〇 | 六九五、九七八 |
| 大豆及小豆 | 一〇〇、九五九 | 六四八、〇八三 |
| 鮮魚、乾魚及鹽魚 | 七、一九五 | 四三、四三一 |
| 人蔘 | — | 一七三 |
| 生牛 | 一四、七六〇 | 九六、五六八 |
| 食鹽 | 一六〇 | 一九、四〇四 |
| 清酒 | 九、八二九 | 五五、六二五 |
| 打綿 | 七、七二一 | 三一、三〇四 |
| 生金巾及シーチング | 七六、七六四 | 五七九、六〇〇 |
| 日本木綿 | 四二、四二〇 | 一四九、六二二 |
| 煙草(葉卷を除く) | 三三、五九七 | 一五四、八七九 |
| 石油 | 一、三三三 | 二〇、八二七 |
| マッチ | 一四、五三六 | 四〇、八三三 |
| 砂糖及精糖 | 一八、五九四 | 六八、〇六九 |
| 石炭 | 一九、〇〇六 | 九一、八八三 |
| 綿絲 | 三三、〇〇五 | 二六一、四四二 |

## 湖崎氏の女子教育談(續)

教育學や管理法は教授法の原則形式を學ぶ學級に止め置きて教ふべき學科に精通することが教授法をして熟練ならしむべき肝要なる一條件であらうと私は考へます小學校や高等女學校の如き普通教育にありては教授に老錬なる教育を最も貴とするものでありますが然るに中等教員の缺乏を濟さん爲めに短時日の修了で數多の有資格者を養成したものですから是等の有資格者よりも却て無資格者の方に學力あり經驗もあるものが多いと云ふ現象を私は認めて居ります處が此四月から無資格者は全教員數の三分一以上採用することが出來ないので何校とも窮窟を感ずるだろうと思ひます六七年前迄は女學校の裁縫教師に土地の仕立屋所謂お師匠さんを雇ふて居た此お師匠さんが實地の仕立は中々甘いけれども教授法が下手で不得要領に終るのであります此時代にありては教師も生徒も裁縫と云ふ科目を極めて輕視して居つたのでありますから女學校を卒業しただけでは餘所行の羽織も縫へないと云ふ始末であつた是れは學校だけの罪ではない當時の父兄も學問させるのが主要なる目的にして裁縫の如きは輕く見做してゐて傾きがあつた樣に思ひます今も猶左樣な不心得な親達がありはせぬかと愚考致します斯樣な女學校出では良妻賢母の資格を欠いで居るので是等が慥かに女子教育の非難の一原因になつて居ります借て今日の高等女學校にては何校とも極めて裁縫に重きを措いて居る次第であります此點は安心して宜しからうと思はれます

●●●●●●滿鐵廣軌車輛工事 滿鐵會社が米國に注文せる廣軌式機關車二百餘輛客車約八十輛貨車二千二百輛の中既に組立濟となりて運轉しつゝあるは機關車三十輛客車(三等)車九輛貨車七百八十九輛郵便手荷物合造車十五輛客車用車十輛にて目下組立中に屬する機關車二十輛等客車約二十輛貨車二百五十輛又既に着港せるも未だ陸揚せざるもの及び陸揚濟なるも尚ほ組立中の分は機關車三十六輛三等客車二十輛貨車二百五十輛なりと云ふ而して未到着の分は機關車百十餘輛客車二等車を合し三十輛貨車千百二十輛計りにて其内客車丈は目下航行中故全部到着濟となるは七月末の事なるべく目下大連工場に於ては職工二千五六十人を督し組立に取急ぎ居れり

●●●●●●財産調査局事務囑託 漢城財務監督局長小林重氏は京畿道、財務署財務官松尾延之助氏は忠清北道、全州財務監督局長佐々木正太氏は全羅北道、財務署財務官今井潔氏は全羅南道、大邱財務監督局長川上常郎氏は慶尚北道、財務官米内金策氏は慶尚南道、同山口豐正氏は江原道、同佐々木保之氏は黄海道、平壤財務監督局長矢野久三郎氏は平安南道、財務官高久敏男氏は咸鏡北道、元山財務監督局長野手耐氏は咸鏡南道等何れも臨時帝室有及國有財産調査局事務を囑託されたり

●●●●●●澤田書記官の不快 此程歸任したる統監府澤田書記官は病氣の爲め引籠中なりと

●●●●●大橋囑託の出張 大橋次郎氏は赤十字社用等の要件を帶び十四日頃東京に出張する由なり

●●●●●十二日參内者 昌德宮計四十八人(内婦人五人)重なるは宮内大臣李允用軍部大臣李秉武、學部大臣李載崐、侍從院卿閔丙奭同副卿李會九、承候官尹澤榮、同尹德榮、警視副監具然壽、典醫長徐丙寺、典膳司長金珏鉉、禮式官高羲敬、承寧府侍從洪運杓、同尹範植、趙法相夫人光岡竹子、小宮夫人、總管宮計五十六人(内婦人二十八)承寧府從侍長金春熙、同總管趙民熙、同掌膳金相昱、同典洪哲普、侍從院侍從李甲承等なり

## 龍山疑獄事件の公判

前の龍山民團役所民長代理大村百藏及び木村稔、白砂藤吉、新屋龍夫に關する官文書僞造事件の公判を今十四日午後一時より京城理事廳に於て開廷せらるゝ由

●●●●●●仁川魚類の價格 仁川近海の魚漁は昨今皆無の姿にして僅かにハゼ、油メジの漁あるのみにして仁川及び京城に供給さるゝ生魚は凡て釜山(八分)及下の關長崎より輸入するものなれば其の價格は非常に高く今重なるものゝ價格を聞くに

| | | | |
|---|---|---|---|
| 鯛(十貫目) | 三十五圓 | 油メジ | 二十四圓 |
| サワラ(同) | 三十圓 | アナゴ | 二十六圓 |
| ヒラメ(同) | 二十五圓 | 鮑 | 二十圓 |
| ハゼ(同) | 十五圓 | イカ | 二十五圓 |
| ブリ(同) | 二十七圓 | 伊勢エビ | 二十五圓 |
| 白身鯨(百斤) | 二十圓 | 赤身鯨(百斤) | 卅圓 |

●稀有の大鱶を捕ふ 去る一月二十八日旅順水交社に於て催したる旅順港内の鯛漁は非常の好況にて數萬尾の漁獲ありしが其の中に長さ三尺、頭部に擧大の牡蠣の着きたる珍らしき大鱶を捕獲したるが右は冬季中鱶族が港内に避寒し居れる內牡蠣の繁殖したるものにて敢て漫りに浮游せざる事を推知し得べく珍らしきものなれば之を寫眞に撮りて右の理由を附記して同社より今回皇太子殿下に獻上したり

●看護婦會の新設 曙町光田松子氏は今回東京より熟練せる看護婦數名を招聘し家の便を圖らんが爲め新たに京城外勤十字看護婦會を組織したりと云ふ

# 京城より(大朝轉載)

▲●●●●李宮相の歸國

我が國に於いて優遇款待を蒙りし李允用氏は今日午後二時南大門驛に歸着し直ちに參内復命に及んだ。謁見は昌德宮が一時間餘、壽宮が約二時間に亘り我が帝室及び一般國民の厚遇より何かと詳しく奏上に及び皇帝陛下は深く感謝されたご漏れ承るが、さて德壽宮は……韓官中の猾雄を以て許され又自任する李氏が太皇帝陛下と差し向ひの長物語、我が輩は此に一言して置くが度に過ぎた歡待は却て成功を贏ち得ないといふことである、韓國民の對外交際は古來政略的で恩惠に感じ歡迎を德とするほど正直な國民でない英親王殿下や宋李二相の優待も始めの程は氣受けが善かつたが其の報頻に至るに及んで一般の冷笑に變じた宋農相一行なども離宮などに置かないで大がい宿屋の飯を食はすがよいのである、多くは恩を仇で酬ゆる韓人の天禀、老狡なる李氏が眼に映じた日本觀やいかに安神滿足されたさか嚴妃が悦んで泣いたとかはほんの表向きの沙汰、我輩は太皇帝陛下が李氏と相顧みてニヤリ一笑、之に無量の味が潜んだことゝ想像する。

月旦三十行 予の見たる仁川紳士

## 樋口平吾君

今日は仁川紳士仲間の珍男忠良なる臣民勳六等民會議員樋口平吾クンを紹介する君は賽の河原的成功した臣民である實に賽の河原に於ける子供の如く可愛らしい成功者である。金棒持つた鬼の如き幾多の艱苦は氏が成功するまでに君が積みつゝある石を幾度顛したであらう、だが堅忍金を貯むるとの外余事を顧みぬ君は遂に見事な墓を賽の河原に築きあげた、而うして仁川紳士の仲間に入つたのである。君は一攫千金は夢みず他人の窓を茶張つて我墓とはしない、河の流れから一つづゝ小石を拾ふて來て墓を築ぐのだ故に他人と若し金錢に關する爭ひでも起る⁇君は我墓を毀すの鬼と目して一錢一厘否一毛のとでさへ閻魔廳で爭ふて少しも假す處がない金のことならよし鬼が目玉を引ン抜いても文久錢の穴を探り當てる程金と親密である之れ位ゐ金ご仲よしであるから金の墓が出來たのであらう、今では地藏様のた膝元で笑ひつゝ日を送つてゐる。君は忠良なる大日本帝國臣民を以て自ら任じてゐる一旦緩急あれば直に書を陛下に捧呈し臣樋口平吾謹んで言上し奉る的口調で以て急を報じ願はくば馬丁になりともれ使ひ下されと身を投げ出して指揮を待つ位ゐである、故に日清戰爭の際には忠良なる臣平吾君は軍隊の先導として從軍し勳六等を賜はるゝの榮を得たのである、忠良なる樋口君は斯くして富を得誇るに足る名譽を得而して今は仁川民團議員の肩書さへ得たさうして平吾君は健全である、家もある、土地もある、一厘一毛も皆不動産と化してゐるから盗難の虞れはない、家内は安全である、勳章は光つてゐる、平吾君萬歳である

●狂人青樓を素見す　一昨日午後二時頃新町月下樓に威勢能く車を寄せつけたる者あるより同樓にては此の不景氣にシカモ日中の來客是れぞ福の神の御入來ならんと番頭は箒で庭を掃き仲居は塗りかけの白粉を手にしたまゝでいざ此方へと客間に案内し御注文はと承はると此客大得意の体にて新町遊廓の藝妓娼妓は申に及ばず仲居に至るまで一萬日間總揚にて市中は烟り止めの御託宣に仲居はうつたまげて尻餅をつく〳〵其の面相を眺むると血走る眼を釣り上げて本氣の沙汰とも思はれざるより何は兎もあれ金の有無を糺して見んと其處は營業柄とて如才なく仰の趣委細承知仕りましたが當家は總て前金を頂く規定にて候へば何程にても御預り仕りたしと恐る〳〵言上に及ぶと客はいとも鷹揚に散財料のことは少しも氣遣ふこと勿れ僕が高永喜に手紙をつけると度支部の金庫に有つたけの金は悉くよこすなり若し萬一兎や角と吐かせば僕は總理大臣李完用でなくてキカンヨーだアハヽヽと高笑ひで濟まし居るより是れ全くキ印に極つたり体よく追ひ返すことを得策なりと種々機轉を利かして此の手狹の内では迚も藝妓の總揚などいふ大勢の御集會は六ケしく候へば他の青樓へた越しあつて然るべし御免々々と言ひつゝも火鉢を片つけ座蒲團を引き上げて突き出さんばかりに追つ拂ひ漸く〳〵と鹽を蒔き今日は福の神かと思ひの外縁起でもないと溢し居る處へ其の客が再び舞ひ戻りしが玄關にて追つ拂ひたりしに又も二時間計りして三たび入り來り今度はつか〳〵と奥間に通りて床の上に座を搆へ嫌せど威せど更らに歸るべき模樣もなきより新町派出所に急訴に及び巡査が出張して取調べて見ると鳥取縣の者にて龍山元町二丁目に住する田中梅吉(二十)といふ精神病者なりしと

●醉ふて巡査派出所を騒がす　長谷川町の洋服裁縫業西岡正の雇人茨城縣人越部錄(三十)同長野縣人神田逵太(三十八)の兩名は何所で飲みしか泥醉して本町三丁目の路上に寢て居る所を巡査が保護して派出所に連れ歸ると暴言を吐き散らした上に椅子を投げるやら火鉢を打ち碎くやらの亂暴を極め巡査も手に餘して警察署へ連れ行きたり

●老狸警察部を騒がす　夜來の寒氣は頓に加はりて萬籟聲なく天地寂寞たる九日朝の二時頃大阪西區江の子島府警察部の霜に凍たる入口の舗石の上にカチリと一聲怪しき物音の聞ゆるより宿直の福西寺井の兩書記は目聰くも飛び起き忍び足にて同處に至り物影より煌々たる電燈の光に透し見れば三尺もありと覺ゆる年老りし大狸其處に積み窩ね置きし衞生試驗用の瓶詰の正宗を前趾にて掻き落し碎けし瓶より流れ出づる酒の泉を啜り居る有樣に血氣の兩書記は手捕にせんと追迫りしかば老狸先生狼狽し南手の公衆電話室に飛び込みしかば遂に北手の硝子戸を破り府廳の方に逃げ去りしが同所には是れ迄度々老狸の出沒する事ありしも今回の如ぎ大狸は初めてにて近々大擧して狸狩を催し狸汁を饗應まはんと意氣込み居れる由なり

●麻浦の出火　去る十一日午前十時龍山警察署管内麻浦花暻七統二戸の韓人家屋より出火し隣接せる温突一軒を燒失して同十一時鎭火せしが原因は温突の火を焚き附け居る内温突の焚所より火を發せしものなりといふ

●炬燵から失火　一昨夜南山町一丁目の第十三師團參謀少佐の馬丁堀岡龍平が炬燵に火を入れて外出せし留主中に出火し蒲團に燃ゑ移りたるが早く氣付きて消し止め大事に至らざりし

●技師巡査に說諭せらる　旭町一丁目に居住する宮内府技師藤本萬藏(四十)は身分柄をも辨へず隣家なる韓人金景俊の邸宅を犯して板塀を築かんとし景俊がこれを拒みしより其の胸倉を捕へて押し倒し愚圖々々吐かすこぶん擲ると恐喝したるより爾後より警察署へ屆出で巡査に說諭せられて大に面目玉を失ひたるは近來の滑稽とや云ふべし

●韓人の面の試驗　韓人は恩知らずで泥棒根性で虚言つきで其の面の皮は兩鐵よりも厚いといふことだが寔夫れほどに厚皮であるか否かを試めして呉れんといふ深い考のあつたか否かは知らざるも大和町一丁目の大和組の雇挽子澤田長吉(十九)は一昨日本町六丁目を通行の際卷烟の吹殻を向ふより來かゝる韓人の額にちゝ付け其まゝ行き過ぎんとする所を巡回の警吏に見咎められて大目玉頂戴

●病院に對する面白からぬ噂　南署○○町に何とやら云ふ病院あり其處にては病室の設備もなく又病院と名乘る程の組織にあらざるに病院としての所置をとり來れりとのことなるが現に當時入院中の患者に對しても土間にアンペラ一枚布きて横臥せしめ且つ之れに對して其不親切を噂したる者ありしとて屁理屈を捏ねたる端書を投じて之れを脅迫したりとのことなるが果して信なりとせば聞き捨てならぬことなり之れに對して本社は今其の精探の手を擴げつゝあれば今にして改悛の情なきに於ては其眞相を抉發せん考へなり其院名等も明かなるも之れを明記せず反省の餘地を與へれくなり、因に病院とは醫師二人以上藥劑師一人は必ず在らざる可らずと云ふは原則也此れ丈けは一寸注意言明しれく

### 火星と通信

米國電氣學者にして發明家なるニコラステスラ氏は火星と通信を行はんとてナイアガラ動力會社と協同して目下八億馬力を發生せしめん準備中なるが氏の信ずる所に據れば火星には確に住民あり容易に氏の信號に應答することを得可く而して彼等は善く發達せる怜悧なるものなりと云へりと英國新聞に見ゆ

●梶棒を折る　大和町三丁目に住する通信管理局の給仕池田門喜は去る十一日の午後六時頃長谷川町に於て韓人車夫宋大克の曳き居る人力車の梶棒を踏み折り警察署へ連れ行かれて說諭を受け示談にて事濟みとなりしと

●金持ちの泥棒　去る十一日の午前十一時過ぎ壽町三丁目の古物商中村敬太郎方の店頭に陳列しありし五連發のピストルと其の附屬品の帶革を窃取し逃走せんとするものあるを早くも見付けて引捕へ警察署へ連れ行きたるが此の賊は北署東十橋二統二十戸住にて典當局を營める張兌鎭(三十)といへる横着者なりしと

●强盗犯逮捕　京城中學橋統戸不詳居住金昌楨(三十八)は客月廿五日巡査田錫昌及び金教煥の爲め水原市場にて擧動不審として逮捕取調べし處外四名の者と共謀して昨年十二月六日短銃或は棍棒を携へ京城西門外金昌根方へ侵入し脅迫の上金六十圓を掠奪し同月九日始興郡上北面楊坪里居何某方へ押入り金七十圓を强奪し何れも分配したる由自白せしを以て刑事訴追に附せらる

●困つた亭主　城内韓人部落上茶洞に居住せる金泰元(三十八)といふは四十男の分別盛りなる上に家には親もあり妻子もある身なるにも拘はらず酒を呑んでは毎時もつひ近くの蝸甫屋に居ピタリになりて親が戒めやうが妻が諫めやうが兒が泣かうがソンナ事には一切れ構ひなく酒は百藥の長女は五十年の延壽剤と親讓りの財産を湯水の如く遣ひ居りしが近頃は此の放蕩病の漸次増長し來りしと見ゑ去る十日は朝より一人のカルボを吾が家に伴ひ來り親や妻子の手前をも憚らず傍に侍らして酒の酌を爲さしめしが醉の漸く廻るにつれ男女の痴話はますます嵩じ來りしかば妻は此の有樣を見るに忍びず突然拳を固めて右のカルボを毆り付けしに男は承知せず其の場に於て女房をば引き倒し馬乘りとなりてイヤといふ程打ち据へしかば親爺は驚きて直ちに巡檢を連れ來りしが巡檢は同人の罪を叱咤し懇々と將來を戒めたりと

●遺したり拾つたり　去る十日夜南部警察署へ御成町飲食店本岡泉藏なる者出頭し只今自宅に於て金四十七圓七十錢入りの財布を發見せしが何れ遺し主は當夜飲みに來りし客の者とは思へど更に遺失者の何人なるや心當りもあらねば此段た屆けいたすと件の財布を差し出せしに折柄夫れへ宮城縣生れ當時鐵道管理局龍山出張所守衛大津台次といへるもの來り自分は當夜金四十七圓七十錢入りの財布を失ひしが遺せし場所は更に記憶に止まらず何卒拾得者にても判りになり居らば御下げ戻しの程を願ひますとの事に警官は財布の模樣及び金の種別等を訊せしに正に同人の物に相違なきを以て即坐に下げ戻したりと

●五名の無錢遊興　若草町一丁目の下宿屋三河屋に止宿せる大工職高橋倉吉は同職の者四名を誘ふて一昨夜大和町二丁目の飲食店吉田ヒテ方に抵り六圓七十九錢の散財を爲しいざ勘定といふ一段になり孰れも文なしにて四論五論の末が警察署へ同行し說諭せられ示談にて事濟みとなれり

●又も風呂屋にて盜難　一昨夜明治町の大和湯にて前田好雄の妻某は袖に入れ置きし金二十餘圓を盜難に罹りたりと

●四百圓を掏り取らる　農商工部農務局の書所某は去る十日五十八銀行支店に於て洋服の隱しに入りありし金四百圓を掏り取られたりと

●韓人の行き倒れ　昨日午前十時三十分南大門朝市の入口より南方十五間許に當る所に乞食らしき韓人一名行き倒れ居りしが年令は五十前後にして携帶品は帳面一冊と巾着一個なりと

●報恩講施行　龍山西本願寺開教總監部に於ては昨日より十六日迄宗祖の報恩講を施行せり右につき十五日の定例說教は休止する由なり

●日曜說教　長谷川町の本願寺出張所に於ては來る十六日鎌田開教使の「捨てられし身の幸ひ」てふ說教あり

# 東洋火災保險株式會社株式募集廣告

一目的　動產及不動產の火災保險業
一商號　東洋火災保險株式會社
一資本金　一百萬圓
一株式總數　二萬株
一一株の金額　五十圓
一申込證據金　一株に付金二圓五十錢
一第一回拂込金額　一株に付金十二圓五十錢　但證據金共
一發起人及贊成人引受株　一萬株
一公衆募集株數　一萬株
但應募株數超過の場合は按分を以て遞減するものとす
一申込期限　明治四十一年二月廿九日限　期限內と雖も應募株多數超過の場合は申込を締切ることあるべし
一本社所在地　韓國京城
一申込及株金取扱銀行　第十八銀行　第五十八銀行　天一銀行　韓一銀行
創立事務所　漢城銀行　漢湖農工銀行　以上各本支店及出張所共
前記の各項御承諾の上御便宜御申込被下度候也

發起人（イロハ順）

伊東松治郎　羽多野彌五郎　李埈鎔　大鐵マサ　小川勝平　竹津三平　田中常次郎　中村再造　松尾元之助　近藤佐五郎　江口喜太郎　酒井政平　金木基宅　平金三

伊藤友松　白寅基　李專鎔　大島常市　和田又太郎　田中義次郎　田村藤次郎　釘本藤次郎　松永達次郎　兒玉善次郎　天野秀一　佐野彥藏　三澤五百太　閔泳綺

飯塚彥次郎　白完爀　李鳳來　大坪文吉　梶原末太郎　田中良助　曾我良勉　桑野太郎　增田三穗　古城菅堂　秋田毅　貞島品吉　清水繁太郎　森村太郎

井上平二　土肥審次郎　力武平八　奥田彪　加來榮太郎　高綺清吉　塚崎芳子　倉重棟輔　藤富國太郎　郡金三郎　安藤貞一郎　佐々木源吾　清水松次郎　森芳太郎

畑彌右衛門　趙鎭泰　大池忠助　沖津三十郎　川添戶次郎　高瀨與吉　綱木仙吉　山中勘一郎　古田淳治郎　穎原修一郎　比留忠次郎　阿金時鉉　四ヶ所爲五郎　關繁太郎

明治四十一年二月七日
京城長谷川町三十九番戶
東洋火災保險株式會社創立事務所
（電話六百五十一番）

---

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店　大阪市西區北堀江通五丁目
支店　釜山　仁川　平壤　鎭南浦　安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店
（電話五八番）

爲替取組先

| | | |
|---|---|---|
| 內地 | 東海道 | 二十七ヶ所 |
| | 東山道 | 十三ヶ所 |
| | 北陸道 | 十五ヶ所 |
| | 山陰道 | 七ヶ所 |
| | 山陽道 | 二十三ヶ所 |
| | 南海道 | 五ヶ所 |
| | 西海道 | 二十ヶ所 |
| 韓國 | | 二十八ヶ所 |
| 臺灣 | | 十ヶ所 |
| 北海道 | | 三十三ヶ所 |
| 清國 | | 九ヶ所 |
| | | 一ヶ所 |

---

純良の牛乳は洋種に限る

●南大門停車場裏の山腹を見よ　高燥にして水清き空氣流通のよき處先年牧場を開き牛乳搾取販賣をなし加ふるに年々需用の增加と共に牛舍を新築し加ふる乳牛を飼育す

●當場飼育の牛乳は東京農科大學教授時重獸醫博士の送致の牛疫豫防免除液を注射し免疫を施しあるを以て搾出する處の牛乳は極めて純良安全無比なり

●當場は衞生上重じ食料を吟味し牛乳は蒸氣殺菌を施し機械鑵詰なるを以て暑中と雖永く腐敗の患なく成分比重の全乳なり

●當場主の抱負は韓國の米豆に次ぐ主要物產たる牛の改良を計るに在り先年來洋種ホルスタエン牡牛（原價五千圓）を飼育し當場牝牛の改良種付の依頼に應す

●當場牛舍の建設より牛乳は一切當地諸賢の指導に隨ひ飼育に勉めて怠らず且つ左の乳牛種と牛舍の設備適格なるを認め餘力を以て汎く證明を得たり

●小山統監府技師　小竹韓國軍醫顧問　兒島統監府藥學士　佐々木廣濟病院長
●吉本韓國赤十字病院長　和田漢城病院長　笹沼警察獸醫囑託獸醫

●當場には殺菌專用として蒸滊機鑵の据附あり
●當場には舍內消毒用として兒島式消毒の備付あり

●當場の一大進步
●當場には純粹の洋牛數十頭を輸入したり（第五回輸入）
●當場には斯業に經驗ある富山縣獸醫荒井豐藏氏を招聘したり

京城南大門外　荒井牧場
華江島　荒井牧場

最良の滋養は生乳にあり

---

佐竹商店金物部　京城永樂町二丁目赤門前

營業課目
一諸機械製造並に修繕
一諸官會社拂下物品買受
一其他不用品買入
一古銅鐵賣買

---

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御届け可申上候
三池粉炭
鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應じ可申候
當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物產合名會社
京城出張所（電話二十六番）
仁川出張所（電話六十三番）

---

極材木、竹類、灩灰

座敷廻り諸材料特に注意取揃あり
右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候
間多少に不拘御用命願上候

小森材木部
京城旭町一丁目
電話七四四番
本宅四〇五番

---

本店　東京市日本橋區兜町

內地支店及出張所　大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京、新大阪町
韓國支店及出張所　仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、
淸國出張所　平壤、大邱、開城、城津、咸興、馬山、鏡城
安東縣

株式會社 第一銀行京城支店

電話番號　營業部　一一番　當直用　同一二番　營業部　三三二番　國庫部分拆所用度係　六一二番　六一二番　六二二番

| | |
|---|---|
| 總支配人 | 市原盛宏 |
| 副支配人國庫部長 | 三島太郎 |
| 副支配人調査部長 | 竹山純平 |
| 副支配人營業部長 | 木村雄次 |

---

新築落成

龍山元町壹丁目

會席御料理 八景園

電話四六番

---

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金　參百萬圓
積立及繰越金　七拾貳萬圓

株式會社 十八銀行京城支店

京城南大門通（電話四二〇）

本店　長崎市築町
支店出張所　京城、仁川、釜山、羅州、龍山、木浦、元山、群山
韓國
日本　大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金　一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日步壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

---

營業科目

活版活字鑄造
石版銅版
コロタイプ
彫刻諸印刷
諸帳簿
製本裝釘

本社　京城明治町三丁目（電話三二三番）

日韓印刷株式會社

東京出張所　東京市京橋區南鍋町二丁目十番地（電話新橋三九六二番）

---

諸官衙向文房具御商

京城本町郵便局前

シノサキ商店

（電話六四八番）

---

木炭着荷

京城南大門通三丁目

英兒弟商會

電話九四八番

---

移轉廣告

當京城支店今般都合に依り南大門外御成町五十番戶千葉館前側に移轉仕一層業務勉勵確實叮寧を主とし迅速に御取扱可申に付御用御仰付奉願候追而御用命の際は取次ぎ電話二二九番御呼出被成下度候

通關保稅貨物
鐵道貨物取扱

仁川海岸　小宮山運送通關本店（電話七一六）
同　支店　取次ぎ（電話二二九）

---

謹告

本日より向ふ十五日間聊か座興の印として會席御一人毎に籤引きにて龜景品差上申し候也

景品目錄

一反物　數反
一目覺時計　一個
一晒木綿　數反
一メリヤスシヤツ　數枚
一其の他數百本

白籤なし

會席料理　咲花亭
大和町二丁目

御各位様

---

本店　仁川理事廳通（電話三二番）

原金旅舘

支店　京城南山町（電話一〇七番）

---

改良 ヤ印 木炭 南川山 大俵 小俵

龍山南大門其他各驛渡し現金引換へ特別安價を以て販賣仕候間多少に不拘御注文の程伏而奉願上候也

京城南山町三丁目　ヤ 川西商店
京義線南川驛前　ヤ 川西支店

---

日本郵船株式會社 仁川 瀛船出帆廣告

●釜山長崎門司神戶行　相模丸　二月十八日　後三時
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行　第一オハヨ號　二月廿三日　後三時
伊勢丸　二月十八日　後三時
高松丸　二月廿三日　後三時
●大連行　伏木丸　船客不載　二月十八日　後一時
酒田丸　三月五日　後一時
●大連、芝罘、秦皇島行　山東丸　三月五日　九時
●釜山出帆、元山行　弘前丸　二月十二日

御注意　御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄御送迎ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ艀解纜ノ事

貨物及船客取扱店
仁川海岸通　郡回漕會（電話三九）
京城南大門通　巴商店（電話三〇六）